

第 32 回鍛造実務講座

「鍛造独自技術と新領域への挑戦」

会 期：平成 17 年 2 月 9 日（水）、10 日（木）

会 場：ばるるプラザ京都（京都駅前）

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13

【TEL】 075-352-7444（代） 【FAX】 075-352-7390

主 催：（社）日本塑性加工学会 鍛造分科会

趣 旨：鍛造技術に対する要求は、小型軽量化、高強度化、低コスト化、モジュール化、ネットシェイプ化

など多岐にわたっています。こうした要求に対応するためには、従来の技術や一般的な概念に捕われること無く、鍛造の優位性を見出し、さらに独自技術の開発が必要であると考えます。加えて、新領域への拡大も競争を勝ち抜くキーポイントとなります。そのためには、プレス機械技術、鍛造用鋼材技術、非鉄金属鍛造技術、潤滑技術などの理解と応用が必要になります。これらについて、第一線で活躍されている技術者に自社事例を交えながらわかりやすく講演していただきます。併せて、総合討論と㈱阪村機械製作所の工場見学を企画いたしました。総合討論には、技術相談もお受けいたしますのでふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム：2月9日（水）

挨拶（10:00～10:10）

鍛造分科会主査

中村 保君

- | | | | |
|---|--|--------------|---------|
| 1 | タッピングホームーによるチタン成形（10:10～10:50） | ㈱阪村機械製作 | 黒川 則夫君 |
| 2 | 板材からスタートの鍛造（10:50～11:30） | アイダエンジニアリング㈱ | 中村 誠司君 |
| 3 | 自動車軽量化と鍛造（11:30～12:10） | 日産自動車㈱ | 三田村 一広君 |
| | < 昼食・休憩 >（12:10～13:00） | | |
| 4 | ホンダにおける最近の冷間鍛造と潤滑事例について（13:00～13:40） | 本田技研工業㈱ | 水沼 勲 君 |
| 5 | パーツフォーマによるネットシェイプ加工事例（13:40～14:20） | 旭サナック㈱ | 葛谷 智恵美君 |
| 6 | 最近の高強度鍛造用鋼の開発事例「高強度ハブ用鋼の開発」（14:20～15:00） | 山陽特殊製鋼㈱ | 中名 悟 君 |
| | < 休憩 >（15:00～15:15） | | |
| 7 | 新しい業界への鍛造品の適用（15:15～15:55） | ㈱ニチダイ | 吉村 豹治君 |
| 8 | 新領域への挑戦～アルミニウムの鍛造（15:55～16:35） | 宮本工業㈱ | 関口 常久君 |
| 9 | サーボプレスの現状と応用（16:35～17:15） | コマツ産機㈱ | 富山 誠 君 |
| | 懇親会（17:30～19:00） | | |

プログラム:2月10日(木)

- 10 分流方式による歯車鍛造 (9:30～10:10) 株式会社住友金属小倉 小野 訓正君
- 11 自動車用鋼の現状と今後の方向 (10:10～10:50) 大同特殊鋼株式会社 紅林 豊 君
- < 休憩 > (10:50～11:05)
- 12 総合討論・コンサルティング (11:05～12:00)
- < 昼食・休憩 > (12:00～13:00)
- < 工場見学先にバスで移動 > (13:00～14:00)
- 阪村機械製作所工場見学 (14:00～16:00)
- < 移動・解散 > (16:00～16:30)
- 最寄りの駅にバスで移動し解散

参加申し込み方法

定員:120名(定員になり次第締め切り)

参加費:鍛造分科会会員 20,000円, 塑性加工学会会員・一般 26,000円,

(いづれもテキスト1冊、懇親会費無料、昼食は2日間ともつきません。)

申込方法:別紙申込書またはEメールでお申し込みください。

Eメールでのお申し込みの場合は、見出しを「第32回実務講座」とし、(1)氏名、(2)会員資格、(3)勤務先・所属、(4)連絡先(電話番号、住所・所在地、電話番号、FAX番号)、(5)工場見学および懇親会に参加の有無を記述してお申し込み下さい。参加券および請求書を郵送しますので、参加費を振り込んで下さい。

申込先:鍛造分科会事務局

〒253-0043 横浜市磯子区氷取沢町150-4-14-104 西山方

TEL/FAX(045)771-4709, E-mail:nkatsue@oregano.ocn.ne.jp

振込先:東京三菱銀行 金沢文庫支店 普通預金口座 0101189

名義:日本塑性加工学会鍛造分科会

その他:駐車場はありません。